年金だより

後継者のみなさん
農業者年金に加入しましょう

今回、農業者年金制度が一部、改正されて、これまでに加入期限がすぎてしまって加入できなくなっていた後継者にも、今年限りで一定の要件に該当する場合には、加入できるような救済措置が講ぜられました。

ついては、次に掲げる要件をよくお読みいただき、該当する場合には今年の十二月三十一日までに、農協で加入手続きを行なって下さい。

① 大正八年七月三日から昭和十五年一月一日までの間に生まれたこと。

② ①に該当する人は、まず次の表で、あなたの「基準日」をお調べください。基準日は、次の表の左欄の生年月日ごとの右欄の日です。

区分	基準日
大正8年7月3日～大正9年1月1日生まれ	昭和49年7月1日
大正9年1月2日～昭和11年1月1日生まれ	昭和50年1月1日
昭和11年1月2日～昭和12年1月1日生まれ	昭和51年1月1日
昭和12年1月2日～昭和13年1月1日生まれ	昭和52年1月1日
昭和13年1月2日～昭和14年1月1日生まれ	昭和53年1月1日
昭和14年1月2日～昭和15年1月1日生まれ	昭和54年1月1日

さて、あなたの基準日に、あなたの父母、父母又は養父母が自分名義の50アール以上の農地等の農業経営主であったかどうか。

次に、これに該当する場合に、あなたは、基準日まで引き続き3年以上農業に従事していたかどうか。これにも該当すること。

ア 農業者年金制度が一部、改正されて、これまでに加入期限がすぎてしまって加入できなくなっていた後継者にも、今年限りで一定の要件に該当する場合には、加入できるような救済措置が講ぜられました。ついては、次に掲げる要件をよくお読みいただき、該当する場合には今年の十二月三十一日までに、農協で加入手続きを行なって下さい。

① 大正八年七月三日から昭和十五年一月一日までの間に生まれたこと。

② ①に該当する人は、まず次の表で、あなたの「基準日」をお調べください。基準日は、次の表の左欄の生年月日ごとの右欄の日です。

区分	基準日
大正8年7月3日～大正9年1月1日生まれ	昭和49年7月1日
大正9年1月2日～昭和11年1月1日生まれ	昭和50年1月1日
昭和11年1月2日～昭和12年1月1日生まれ	昭和51年1月1日
昭和12年1月2日～昭和13年1月1日生まれ	昭和52年1月1日
昭和13年1月2日～昭和14年1月1日生まれ	昭和53年1月1日
昭和14年1月2日～昭和15年1月1日生まれ	昭和54年1月1日

さて、あなたの基準日に、あなたの父母、父母又は養父母が自分名義の50アール以上の農地等の農業経営主であったかどうか。

次に、これに該当する場合に、あなたは、基準日まで引き続き3年以上農業に従事していたかどうか。これにも該当すること。

③ あなたが、この救済措置による加入を申し出る日に、次の要件を満たしていること。

ア、六十歳未満であること。

イ、「あなたの父母、祖父母又は養父母で基準日に自分名義の五十アール以上の農地等の農業経営主であった人」（これを「特定農業者」という）が、加入の申出日にも農業経営主である場合には、その特定農業者から農業の後継者として指定された人（一人に限られます）であること。

ウ、特定農業者が、加入の申出日にも農業経営主でなくなっている場合には、基準日に特定農業者が耕作していた特定農業者名義の農地等の二分の一をこえる部分について、あなたが権利をもち、農業経営主となっていること。

④ 基準日から申出日まで引き続き国民年金の被保険者であったこと（出稼ぎ等で被用者年金に短期間加入した人には、特例があります）。

⑤ ①から④までに該当していれば、通常の場合には資格がありますが、これまでに農業者年金に加入していたことがある人は次のような場合には、その資格がありませんので、このようなことがないこと。

ア、農業者年金から任意脱退をしたことがある。

イ、基準日から申出日までの間を計算の基礎とした脱退一時金の支給を受けたことがある。

以上が救済の対象となる要件です。

尚、この加入説明会を九月七日（金）午前十時より日置農村環境改善センターにおいて開催致しますので、お知らせ致します。

大会旗掲揚

青少年キャンプ大会

日置小六年
藤田百合子

七月二十七日から二泊三日の予定で行なわれた、青少年キャンプ大会に参加した。初めての試みなのでどうやって生活したらよいのか不安だった。しかし改善センターに集合したらたくさんの友達がいるのでそのいやな気持ちはなくなった。現地までバスでいくのだが一台しかないので、二往復しなければならなかった。私は一回めの方に乗った。きゅうくつだったけどなんとなく「最初」というこ

とで気持ちよかった。

第一日目から汗びっしょりになりそうな仕事があった。テントをはる事だ。だけどキャンプにきた目的の一つにテントでねることもあるので一生けん命がんばった。その日はなかなか眠れなかった。朝も早く目がさめ、みんな落ちつかない様子だった。朝食・昼食・夕食のすいじは、どこの班も競争しているようだった。私たちの班が一番に食べ始めたら他の班の人がうらめしそうに通った時はふきだしそうなくらいおかしかった。夜は夜でキャンプファイヤーがあった。班ごとにスタンツをださなければならない。「とんご・空」を私達の班でやった。また各班の青年班長のわけのわからない踊りや、青年団のダンスなどがあり楽しい一ときを過ごすことができた。その日はさすがにつかれてぐっすり眠れた。

キャンプ生活最後の日は、自分で「だらけないようにしよう」と決めた。三日目になって病気やけが人が出るとせっかくの楽しい大会が大なしになってしまう、そのためにもがんばろうと思った。

昼食はそうめん流しだった。初めてなのでうまい具合にとれなかったけどおもしろくなってきた。おもしろくなった時はもうおなかいっぱいだった。昼食もすみ閉村式が始まった。この大会に参加してよかったなあと思うことは、神田小の山田由美子さんと友達になれたことと飯合でご飯がたけるようになったことまだまだある。反対にテントがせまく虫が入ってきたことが残念だった。

三日間のキャンプではあったが学校では学べないことも多くあった。これからの生活に生かしてゆきたいと思う。

来年も参加したいが中学なのでいけないのが残念です。

竹馬競争